

研修会報告

2023年9月28日(木)14:00~15:30 ハイブリッド開催(セリオホール・Zoom)
第23回 医療・介護関係者による研修～地域で生きるために～
「入退院支援と在宅療養支援の現状について」

「入退院支援」について、お互いの立場や業務について理解を深め、切れ目ない医療・介護連携支援を考える研修会となりました。

研修会では10職種54名の方々にご参加頂きました。



松田氏・久野氏・富田氏・山下氏

座長：神戸市西区医師会 副会長 久野病院 院長 久野 英樹 氏
パネラー： 「入退院支援と在宅療養支援の現状」
伊川谷病院地域医療連携室 退院調整看護師 山下 ゆみ 氏
「入退院支援における訪問看護の役割と課題」
訪問看護ステーションファースト 管理者 富田 裕子 氏
「入退院支援におけるケアマネジャーの役割と課題」
ケアプランセンターすみれWEST 管理者 松田 みつ子 氏

《パネルディスカッションの要点：一部抜粋》

【地域医療連携室】めざすべき姿＝ゴールであるために必要なこと

- ・病院と在宅療養を支える職種の連携、ケアマネジャーから入退院連携シートによる情報提供
- ・ケアマネジャーからの情報を有効活用し、多職種による退院を見据えた退院支援計画作成
- ・現状分析・課題抽出、在宅調整に必要な支援の抽出

【訪問看護】今後の課題

- ・退院時カンファレンスや退院前訪問に積極的に参加する
- ・訪問看護のできる事、出来ない事を患者様ご家族及び病院関係者を含めた多職種共有
- ・訪問看護の質の向上 ・多職種との連携を密にし、質の良いケアを提供する

【ケアマネジャー】理想的な連携プロセスと課題

- ・退院前カンファレンスでは、多職種で退院後の生活を意識した生活課題を検討する
- ・退院前カンファレンス後に、多職種の意見を踏まえたケアプランを完成させる
- ・医療機関へモニタリング結果をフィードバック(1ヶ月後)し退院支援のあり方について振り返る

《質疑応答：一部紹介》

Q:情報共有について、病院側への要望

A:本人は、医師・病院側と家では顔が異なり、病院で勧められると断れない。特に懐具合の配慮が大事。



【成 果】(アンケートより一部抜粋)

- 薬剤師)・病院と在宅での患者へのかかわり方の違いが詳しく把握できました
- 看護師)・多職種連携が大切。日頃から多職種同士が顔の見える関係づくりをしておくことが大切。ケアマネジャーさんの大変さを改めて知りました
- ・訪問看護の実情が聞け自身の訪問につなぐことができると感じた
- MSW・PSW)・地域の社会資源について学べた
- 包括)・まだまだ顔のみえる医療介護連携が難しい現状が良く分かった
- ケアマネジャー)・地域連携室の方の動きや連携の仕方
- ・退院前だけでなく、入院中も密に連絡を取ることが大切だと思いました
- ・連携の大切さ、利用者様の気持ちの本音を聞いて安全に在宅生活を送る